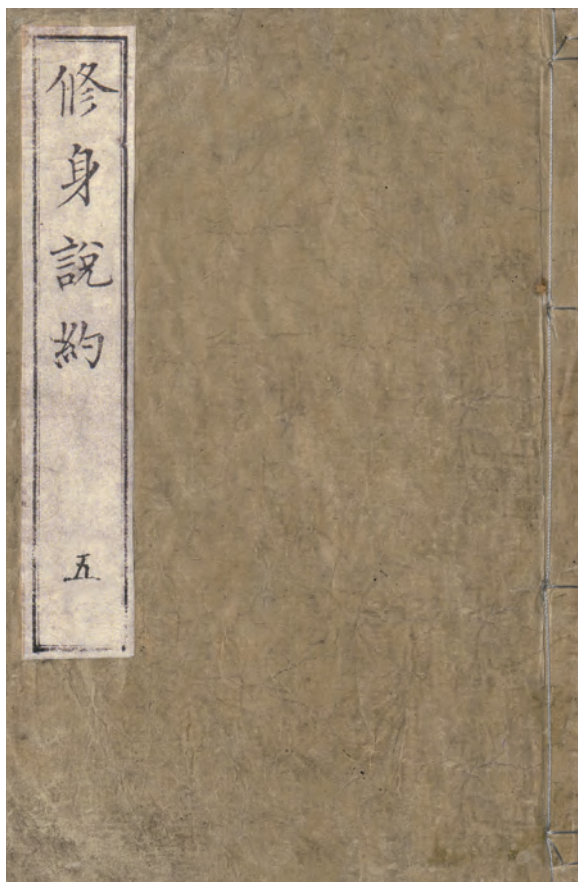


# 修身説約 卷ノ五

復刊版



群馬地域文化振興会

修身說約卷ノ五

木戸 麟 編纂

第一

公助ハ東三條太政大臣兼家卿ノ隨身武則ノ子  
ナリ、右近ノ馬場ニ、賭弓アリトキ、其ノ射人ニ  
如カガリケレバ、武則大ニ怒リテ、之ヲ稠人ノ中  
ニ、撻チシガ、公助ハ伏メ其ノ杖ヲ受ケテ、避ケザ  
リケレバ、或ル人其ノ故ヲ問フニ、吾ガ父ハ、老イ  
テ性急ナレバ、我走ラバ、必、追ハン、追ハバ、必、顛蹶  
シテ、其ノ身ヲ傷ラントヲ恐レテナリト、答ヘシ

ニゾ、人々歎服セザルハ無カリシト云フ、

## 第二

ギリキ<sup>1</sup>ノ哲王アレキサンドル<sup>1</sup>ノ母ヲ、<sup>1</sup>マリム  
ピアスト云フ、性苛烈ニメ、豪氣アリ、王、東國ヲ征  
セシ時、留守官アンチパートル<sup>1</sup>ニ、國事ヲ任シ、母  
ニ珍器寶物ヲ獻シテ、敢之ニ關係スルコト勿カ  
ランコトヲ請ヒケルニ、反リテ、王ヲ不遜ナリト  
憤リテ、益威權ヲ擅ニシ、暴行多カリケレバ、アン  
チパートルハ、其ノ過度ノ件々ヲ記シテ、之ヲ諫  
メ、<sup>1</sup>アンチニ歎息セシガ、王私ニ歎息シテ、<sup>1</sup>アン

チペートトルハ、忠ト云ノマレ、然レモ未吾ガ心ヲ  
察セズ、若母ノ涙一滴ダニモ注ガバ、六百ノ簡書  
モ、一時ニ消失スルニ足ラント云フレトゾ

### 第三

平重盛ハ、大賢ト稱セラレタル人ナリ、其ノ庭、多  
ク小松ヲ樹ユルヲ以、世ニ之ヲ小松殿ト云フ、保  
元平治ノ亂ニ、父清盛ヲ助ケテ、戦功最多ク、寵榮  
隆盛ニシテ、内大臣ニ任ビラレ、羽林上將ヲ兼ヌ、  
性仁孝ニシテ、常ニ、父ノ驕奢ナルヲ憂ヒ、諷諫未  
嘗懈ラザリシガ、治承元年、上皇ノ寵臣藤原成親等、

平氏ノ專横ヲ憤リ、之ヲ討タント謀リシコト、發  
覺シ、清盛大ニ怒リ、成親及ビ黨類ヲ捕ヘ、或ハ誅  
シ、或ハ流シ、兵ヲ六波羅ニ集メテ、將上皇ノ宮ヲ  
犯サントス、重盛之ヲ聞キテ、大ニ驚キ、直ニ衣冠  
ヲ整ヘテ、六波羅ニ至リ、涕泣シテ、君臣ノ大義ヲ  
説キ、懇ニ其ノ不可ノルコトヲ諫メシガ、其ノ言  
至誠ニ出デ、聽ク者感歎セザルトシ、清盛大ニ曰ハ  
ク、我衰老ニシテ、此ノ舉ヲナスモノハ、一身ノ爲  
ニ計ルニ非ズ、子孫ノ爲ニ慮ルノミ、若不可ナレ  
バ、汝好ク是ヲ計レトテ、起チテ内ニ入レリ、重盛、